

太陽誘電の歩み

- 1950年 3月 太陽誘電株式会社設立
- 1950年 9月 チタン酸バリウム磁器コンデンサ「ルチルコン」を商品化
- 1954年 9月 小型フェライトコア「フェリットコア」の生産開始
- 1964年 9月 技術研究所を設立
- 1965年 自社製フェライトコアを用いたインダクタを商品化
- 1967年 5月 台湾・台北市に初の当社現地法人「台湾太陽誘電股份有限公司」を設立
- 1970年 3月 東京証券取引所市場第二部に上場、1973年には一部に指定替え
- 1976年 7月 アキシャルリード型磁器コンデンサを世界で初めて商品化
- 1977年 4月 アキシャルリード型インダクタを商品化
- 1977年10月 世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発
- 1984年 7月 ニッケル電極大容量積層セラミックコンデンサを世界で初めて商品化
- 1986年 6月 EMCセンターを開設
- 1988年 9月 世界初の追記型光記録メディア「CD-R」の商品化を発表
- 1998年 6月 電源回路用巻線チップインダクタ「LBシリーズ」を商品化
- 1998年11月 R&Dセンターを開設
- 2000年 海外4生産拠点を同時立ち上げ
- 2001年 4月 Bluetooth®フルモジュール、Bluetooth®規格Ver1.1認証を世界で初めて取得
- 2010年 3月 太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社を子会社化
- 2010年 4月 0402サイズ積層セラミックコンデンサで0.1 μ Fを世界で初めて商品化
- 2012年 5月 メタル系パワーインダクタ「MCOIL™(エムコイル)」を商品化



佐藤彦八 創業社長と設立当時の営業拠点(東京都千代田区)

